

仙台市議会 市政活動報告 市民フォーラム仙台

令和5年 議会報告 夏号

仙台市議会議員(青葉区) **郷古正太郎**

発行：市民フォーラム仙台 編集：郷古正太郎 〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3-7-1



我々の任期最後の定例会が閉会し、10本の条例案をはじめ27本の議案の審議を行い、可決されました。今回は第2会派市民フォーラムの代表質疑に立ち51項目の質疑を行い、審議された議案や補正予算の中には今まで要望をしていた事項が条例に盛り込まれたものや、要望が実現した予算もあり、新たな方向性を示すことが出来た議会でありました。引き続き7月の常任委員会を含め、市民生活の向上を目指して議論して参ります。

プロフィール 仙台市議会議員(1期) 市民フォーラム仙台(第2会派)政策調査会
総務財政委員会 文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会

第2回定例会の質問要旨

本会議(代表質疑)

1. 4病院再編は時期尚早、救急医療体制を守る

4病院再編問題は救急体制をはじめとする政策的医療の観点から統合再編は時期尚早という事を強く申し上げ、現在の宮城県のスタンスには大変遺憾である。

改めてこの4病院再編問題について、市民の適切な医療を提供する自治体の責務の観点から議論を行い、適切な医療を市民に提供できる体制を堅持していただきたいが所見を伺う。

答弁 市長

4月の県議会で各種調査の結果のとりまとめの資料が公表され、内容を精査しながら県と事務方同士で意見交換を続けてきた。提案者である県が、詳細な情報を明らかにすることが不可欠である。

住民や患者、医療関係者の皆様方の不安や疑問の声を真摯に受け止めていただくことが肝要であり、開かれた場での議論、慎重な検討を行うよう求めている。

また、今年度策定する本市医療政策に係る「方針」の検討を通し、将来にわたり市民の皆様方の命と健康を守る医療提供体制を確保できるよう、救急医療や在宅医療等の充実に向けて、各般の取り組みを推し進めてまいりたい。

2. 高齢化時代に対応する通院や買物の支援を

高齢化が進む昨今、特に小売店舗が少ない地域や坂道が多い地域において、地域住民の買い物や通院支援は非常に大きな課題である。

本市は敬老乗車証があるという話をされるが、敬老乗車証は健康寿命延伸のための外出支援策であり、買い物や通院困難者のために他都市でも例のあるタクシー助成など、ドアからドアでの支援をすべきと考えるがいかがか。

答弁 健康福祉局長

更なる高齢化が見込まれる中で、新たな助成の実施には、財源面の課題もあるが、関係部局と問題意識の共有を図りつつ、他都市の事例なども参考にしながら、本市の実情に即した効果的な支援の方策などについて幅広く検討してまいりたい。

3. 事務ミスには発生抑止のハード整備を

本市では昨年から事務ミスによって不納付加算税が課されるなどの事案が発生している。

発生原因は当局も多忙化を挙げているにもかかわらず、改善策はチェックの追加研修の追加などに多忙化を生んでいる。今回度重なる議論の結果会計システムに関しては補正予算を計上し一定の評価をするが、ミスを誘発するアナログ作業はいまだに膨大である。

市役所の作業効率改善は最終的に市民の利益に資するものであり、DX化やRPAの活用による更なる業務改善を求めたい。

答 弁 まちづくり政策局長

今回のシステム改修により、ヒューマンエラーのリスクが低減するものと考えている。
現在開発を進めております給与システムの更新作業にあたり、業務主管課による事務フローの見直しに併せ、システム担当部門による支援を行い改善を図ってまいります。

4. 中小企業の賃金アップのキーワードは価格転嫁

今回物価高に対して、福祉施設への食材量費助成が補正予算で計上されているが、健康福祉局所管の施設へは価格転嫁が認められないのではないかと、一見見間違える要件も見えるところである。中小企業はサプライチェーンの中で価格転嫁ができずに苦しんでいる事業所が多い。国と経済団体・労働団体が価格転嫁の円滑化に関する協定書が交わされたが、本市としても地元で頑張っている中小零細企業のために、価格転嫁の機運醸成をすべきと考えるがいかがか。

答 弁 経済局長

この協定は、中小企業の経営の安定や賃上げの実現にもつながる内容になっているものと受け止めている。本市としても、適切な価格転嫁に向けた環境づくりは重要であると考えており、協定に参加する関係機関とも連携しながら、情報発信やセミナーの開催などを通じ、価格転嫁が円滑に進むよう努めてまいりたい。

5. 学生の通学支援

今定例会で新たな学生フリーパス制度の導入を見据えて民間バス路線会社のIC乗車システム改修に係る債務負担行為を設定するものは、我が会派としても、予算重点要望を行っており高い評価をする。今回対象に含まれていない、IC乗車証が使用できない市内バス路線事業者についても、学生フリーパスの拡大を検討していくべきと考えるがいかがか。

答 弁 市長

本市ではこれまで、継続的に交通事業者との意見交換を続けており、コロナからの回復傾向もみられるようになってきた中で協議を再開し、新たな学生フリーパス導入にあたっての基本的な事項の合意に至った。新たな学生フリーパスはイクスカを活用し、本市負担額の算出を行うこととなるため、今回はイクスカが利用できない交通事業者への導入は難しい状況である。

引き続き意見交換を行い、学生の移動支援や公共交通の利用促進に向け、取り組んでまいりたい。

6. その他

- アーチルの待ち時間軽減
- 衛生研究所移転と今後の感染症対策、分析機能向上について
- 市役所業務のAI活用(地元紙やテレビでも取り上げられました)
- 障がい者の工賃向上の取り組み
など51項目の質疑を実施

→詳しくはこちら



ごうこ正太郎 市政広聴シート

お名前	ご住所
	TEL - -
お困りごと	

FAX.022-303-8832 いただいた情報をもとに調査し、地域の問題解決に生かしてまいります。